

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
高度建築計画											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	丸山 尚子			実務 経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
計画原論、都市計画、建築史の分野について、さらに深く専門的に学びます。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。①現代の住宅計画、教育施設の実例について理解する。②現代の商業施設、公共施設の実例について理解する。③建築計画のデジタル手法、最新の建築技術から現代の設計手法を理解する。											
授業方法											
これまでに学んだ建築計画の基礎をもとに現代におけるその建築の実践例を通じてその建築計画、特に建築計画各論の側面より論じ考察する。そこから現代建築、都市に関する計画的アプローチとその問題点について考察する。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する											
履修上の注意											
基礎となる建築計画について基本的な理解を前提としていることからその基礎についてより意識を高め受講準備をすること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。マナーについては、日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
なし											
回数	授業計画										
第1回	脱nLDKから始まる住宅計画										
第2回	集合することの意味と実践										
第3回	文化の融合とその器としての図書館										

高度建築計画

第4回	教育の場としての完成から展開へ
第5回	コミュニティー施設としての劇場とその機能
第6回	複合と地域コミュニティーの拠点としての建築
第7回	開かれた行政機関を目指して
第8回	近代都市の完成とその教訓をふまえて
第9回	形態とその設計手法について
第10回	デジタルを建築の関係
第11回	世界の建築の潮流
第12回	最新建築技術の紹介
第13回	人口減少時代の日本の建築のこれから
第14回	地方創生と働き方とオフィス空間
第15回	総まとめ